

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
体育	2	3	現代高等保健体育（大修館）	なし

到達目標
 各種の運動を合理的に実践し、運動技能を高めるとともに、それらの経験を通じて公正・協力・安全・責任などの態度を育て強健な心身の発達を促し、生涯を通じて継続的に運動を実践できる資質・能力を育てる。

評価の観点	評価の内容
a 知識・技能	自己の能力と各種の運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。
b 思考・判断・表現	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、運動の合理的な行い方や計画的な活動の仕方を考え、工夫している。また、個人生活や社会生活における健康・安全について、課題の解決を目指して考え、判断している。
c 主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう自ら進んで計画的に運動をしようとする。また、個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。

評価の方法
 各種目の実技テスト、自己評価・グループ評価シート等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。

年間指導計画											
前期						後期					
月	予定 時数	学習内容	評価の観点			月	予定 時数	学習内容	評価の観点		
			a	b	c				a	b	c
4	3	体づくり運動 オリエンテーション、集団行動、 新体力テスト体づくり・体ほぐし の各運動			○	10	3	体育理論			○
5	3	体育理論			○	11	7	武道（男子）【柔 道】 礼法、基本動作、寝技、対人技能 ダンス（女子）【創作ダンス】 基本の運動、動きイメージ、課題 構成、発表会	○	○	○
6	6	陸上競技 前半（男子）後半（女子） 短距離走、長距離走	○	○	○	12	1 1	球技②（女子／男子） 【バスケットボール／バレーボ ール】 個人技能、チーム技能、簡易ゲー ム、審判法	○	○	○
7	6	器械運動 前半（女子）後半（男子） 【マット運動】回転系（接転技、 ほん転技）の各種目				3	3	体づくり運動	○		○
8	1 1	球技①（男子／女子） 【ラグビー／ソフトボール】 個人技能、集団（チーム）技能、 簡易ゲーム	○	○	○	1	1 8	スキー 基礎技能（方向転換・登行等） 基本技能（直滑降・斜滑降・ ボーゲン） 応用技能（プルーク・パラレルタ ーン）	○	○	○
9	3	体づくり運動			○	2					○
	1 1	球技①（女子／男子） 【ラグビー／ソフトボール】 個人技能、集団（チーム）技能、 簡易ゲーム	○	○	○	3	1 1	球技②（男子／女子） 【バスケットボール／バレーボ ール】 個人技能、チーム技能、簡易ゲー ム、審判法	○	○	○
	9	長距離走 【マラソン大会】 持久力の向上	○	○	○						○
						計	1 0 5				

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項 体育授業を受ける際のルールを遵守し、迅速な集団行動を心掛けること。 指定の服装に着替え、体育館、格技場、グラウンド等、種目に応じた授業場所で行う。
